

# 「都構想」の暴走をくい止めるために

## 大阪市なくすな！住民投票で「反対」を！



京橋駅コンコースで宣伝

11月1日の住民投票まで1カ月余り。期日前投票は10月13日から始まります。

大阪の自治体再編の手始めが「都構想」。大規模開発とインバウンド頼みの観光産業など経済に特化した大阪に変える狙いです。

コロナ感染拡大が続く中で、大阪市を解体するのは狂気の沙汰です。住民のいのちと暮らしを守る自治体の役割が失われま

す。この間、コロナ対策を何もしてこなかった松井市長を見れば明らかです。自治労連の仲間とともに、地方自治破壊の暴走を止めるために、住民投票に向けて全力でたたかいます。

### 「16」シリーズが「えい」が



### 「だれもが愛しいチャンピオン」

#### ただの感動ものとは呼ばせない 予想を裏切るエンディング

実在するスポーツ・チームに着想を得たというスペイン映画、2020年初めに大阪で公開されました。ユーモア満載のヒューマンドラマです。プロ・バスケットチームのコーチ、マルコは才能はあるのですが、短気でプライドが高く、負けることが大嫌いな男です。その性格のせいで試合中に暴力問題を起こしてチームを解雇された上、その帰りに飲酒運転事故を起こしてしまいます。判事から、知的障がい者たちのバスケットボール・チーム「アミーゴス」を3カ月間指導するという社会奉仕活動を命じられます。桁外れに個性的で、こだわりが強いチームのメンバー10人。彼らの自由過ぎる言動に振り回され、基本的な練習もままならず、頭を抱えるマルコでしたが、彼ら

の純粋さや懸命さに触れ、本格的な指導を開始。全国大会に参戦すると、まさかの快進撃が…。10人のメンバーを演じたのは、実際に障がいを持つ600人の中からオーディションで選ばれた俳優。彼らとマルコの掛け合いは実に愉快。そして、彼らと出会って、マルコは人生で大切なものに気づかされ人間的に成長していきます。毎回、予想の斜め上をいく展開で物語が続き、観客の想像を超え、ラストへとつながります。勝ち負けよりも大切なものがあることを教えてくれるラストは、さわやかで見守る者に希望を与えてくれるでしょう。スペインのアカデミー賞と言われる「ゴヤ賞」3部門を受賞し、2018年のスペイン年間興行収入1位もうなずけます。

## Culture Navi かるちがーナび

### 作りませんか



揚げパン  
交野市職労 国武 裕次さん  
協力：現業評議会・給食部会

### 調理員さんの優しい気持ちから生まれた幸せな味



### 作り方

- ①高温の油（200～220度）で、コッペパンをサッと短時間（30秒ほど）で揚げる。
- ②揚げたら余分な油をきり、グラニュー糖を手早くまぶし、できあがり。 ※開封したばかりのきれいな油を使う。油が染み込みすぎると美味しくないので、前日焼きのパンがベスト。砂糖の量は好みで、他にもきなこ・ココア・シナモンなど色々な味のバリエーションが楽しめます。

### 誕生秘話

今から、70年ほど前（昭和27年頃）は、学校を休んだ子どもたちのために、友だちがパンを家に届けていました。しかし、給食のコッペパンは乾燥しやすく、すぐにカチカチに固くなります。そこで、大田区の小学校にいた調理員さんが「固くなったパンをどうしたら、おいしく食べてもらえるだろうか？」と考え、パンを油で揚げて、砂糖をまぶして家に届けたのが揚げパンの始まりだそうです。その後、全国の給食メニューとして広がりました。

### 心に響くひとこと

金持ちが戦争を起こし  
貧乏人が死ぬ

ジャン・ポール・サルトル  
(1905年～1980年)

フランス・パリ生まれの哲学者。「実存主義」で知られます。評価は様々ありますが、まさに真実の言葉。兵器を大量に使用し、軍事産業が大儲けをする一方で、戦場に行かされるのは一般の国民です。

日本では、戦場だけでなく各地の空襲、原爆、沖縄の地上戦…多くの国民が犠牲になりました。

### 今月の記念日

救急の日  
9月9日

救急の日は、1982年（昭和57年）、厚生省（現在の厚生労働省）によって制定されました。救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的としています。また、「救急の日」を含む1週間を「救急医療週間」（2020年は9月6日から12日まで）として、応急手当の講習会を中心とした救急に関する様々な行事が実施されています。みんなが安心して救急医療をうけられる社会をめざしています。